



User Profile

株式会社システムメイト

<http://www.system-mate.com/>

所在地：

岡山市芳賀5325番地1
岡山リサーチパーク 9-1号

概要：

カバヤ食品株式会社・オハヨー乳業株式会社グループの本格的なソフトウェア専門の会社として、グループ企業のシステムをはじめ、様々なシステムを開発しています。

株式会社システムメイト様

エンドユーザーの目の前で帳票設計。 「軽いファイル」「ライセンス」「覚えやすさ」もキーワード。

株式会社システムメイト様は、カバヤ食品株式会社・オハヨー乳業株式会社グループの本格的なソフトウェア専門企業です。グループ企業のシステムをはじめ、様々な企業のシステムを開発され、そのWebシステムの帳票出力に、風神レポートを採用頂いております。

同社常務取締役の廣田様、システム技術部グループマネージャの大原様、システム技術部の関口様にお話を伺いました。

「運用ライセンス」と「ファイルの重さ」を解決できるソリューション

風神レポート導入前に、帳票についてどんな悩みがありましたか？

風神レポート導入前は、他社の帳票ツールを使っていましたが、2つの悩みがありました。一つは、ライセンスなど費用面。もう一つは、ファイルが重すぎることです。

当時使っていた帳票ツールは、運用ライセンスが高額でした。例えば5ユーザーが同時に使うと、6ユーザー目からは繋がらなくなるんですね。でも、ユーザー数無制限のライセンスにすると、300万もかかる。費用がかさむよね、という話が出ていました。

また、帳票ドキュメント(特にPDF)を作成するツールは、とにかくファイルが重かった。印刷までに時間がかかり過ぎるのは困ります。

そんな時に丁度タイミング良く出会ったのが「風神レポート」です。

それまで使っていたツールと同じ機能なのに、ソフト自体の価格が安い。しかも、Webの運用ライセンスが無料であると。最初はちょっと半信半疑でしたね。

また、とにかくファイルが軽い。CSVファイル(データ)は勿論、フォームファイル(レイアウト)もビューア(表示用)も軽い！印刷のレスポンスが早いことも、要望にマッチしていました。

他のツールではできなかった複雑な帳票に対応できた

他に、風神レポート導入の決め手となったものはありますか？

当時、製造仕様書という非常に複雑な帳票がありました。製品によって工法が全然違って、全部に対応できなければならない。幾つもの帳票ツールを検討していましたが、他のツールでは難しく困っていました。しかし、風神レポートは「対応できる」って言うじゃないですか。

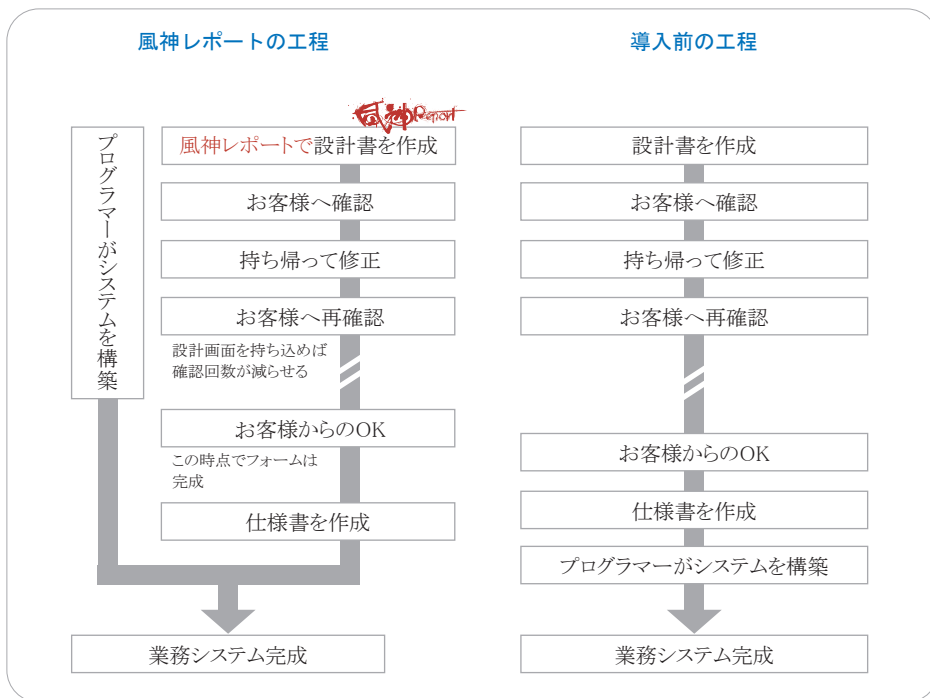
実際に試してみると驚きました。CSVを出力する時に、製品によって出力する場所を変えただけ。それによって、かなりの複雑なことができたのです。だから風神レポートを採用しました。

操作を教えやすく、ユーザーや新人にもすぐに覚えてもらえる

風神レポートをお使いになった感想を聞かせてください

風神レポートは自分でも使いますが、お客様に使い方をお教えすることも多いのです。例えばダイレクトメールなどは、固定の文面があったり、それを随時変更して使い回したいというご要望もあります。その場合、単純に「プロパティのここの文章を変えるだけですよ。」とお教えするだけでOK。お客様も十分使いこなされていますね。





帳票って、システム会社に修正依頼を出すと、たった一文の修正であっても、作業が発生して、費用が発生して…ということになりますよね。でも、お客様がご自分で修正されれば、その部分を節約できるんじゃないですか。それはお客様にとってもメリットかなと思います。

また、社内で使い方を教える際にも、大変教え易いです。1～2日で覚えてくれるので、大変便利です。

風神レポートは、設計画面が良いと思います。「こんなレイアウトにしたい」という時、直接テキストや罫線などのアイテムを、画面上に配置していただくだけです。一緒に画面を見ながら教えているのですが、実際に動かしているものがそのまま印刷イメージとして反映しているので、理解しやすく、覚えやすいのではないかと思います。

単独で設計でき、プログラムとは別に同時進行で進められる

風神レポートにどのようなメリットを感じて頂いているでしょうか？

プログラム側の負荷が減ることが大きなメリットです。

風神レポートは、単独で帳票設計ができますよね。レイアウト部分はプログラムと切り離して、設計者がどんどん作って仕上げるので、作業効率が良いです。

以前は、手書きで設計書を作っていました。線も引いて、お客様の所へ持って行って。そうすると、お客様の要望が出るじゃないですか。その要望に合わせてまた変えて…その繰り返し。OKが出たら今度は仕様書を作って、それからプログラマーがシステムを作って…と、そんな流れでした。

でも風神レポートなら、設計画面で実際の帳票イメージを出力できます。要望のレイアウトを作っていけば、設計書が出来上がっている、というイメージでしょうか。手書きやエクセルの帳票設計が要らなくなるので、無駄な工数が省けますね。また、お客様の所に風神レポートを持って行って、その場でお客様と確認しながら設計すれば、更に工数が省けます。設計画面には印刷イメージがそのまま表れているので、お客様も出来上がりをイメージしやすいです。文字の大きさや、自動縮小、折り返しや罫線などもその場で要望を頂くことができ、確実に確認や変更の回数が減っています。

更に、同時並行で構築しているプログラム側でも、必要だと思われる項目をあらかじめ出力しておけば、その範囲のデータ追加にはフォームの変更だけでOK、プログラムとは独立して対応することができます。その点が、大変大きなメリットですね。

次のバージョンにも期待しています。

掲載した会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。
掲載内容は、2013年2月現在のものです。

導入の課題

- ▶ 運用ライセンスが高額すぎる
- ▶ ファイルが重すぎる

導入のポイント

- ▶ Webの運用ライセンスが無料
- ▶ ファイルが軽い
- ▶ 他のツールではできなかった複雑な帳票を作成できた

導入の効果

- ▶ ユーザーも使える操作性なので、ユーザーのコストを削減できた
- ▶ 操作を教え易いので、社内の新人も即戦力になった
- ▶ レイアウト部分は単独で設計できるので作業効率が良くなった

導入製品

風神レポート
開発キット エンタープライズ版